

原発ゼロでも6社黒字

電力10社4〜6月期決算

大手電力10社の4〜6月期決算が31日、出そろった。原発は全国で一基も動いていなかったが、東京電力など6社は経常損益が黒字になった。赤字の4社は原発に頼る割合が大きかった会社が多く、業績改善が遅れる北海道電力は電気料金の再値上げを申請した。

東電「コスト削減徹底」

「現場を中心に徹底的にコストダウンにつとめてきた結果だ」。東京電力の広報担当は31日の記者会見で、4〜6月期の経常損益が4年ぶりの黒字になったことを強調してみた。給与カットなど人件費削減や調達改革などで前年度

まで1兆5680億円削減したことが、赤字から抜け出した大きな要因だ。東日本大震災前の2010年4〜6月期と比べると、当期の人件費は13.2%少ない。原発は当面動かないとみて、緊急設置した火力発電の高効率化も進めた。昨

年末から、千葉などで改良したガス火力発電所が順次運転を始めており、燃料費を110億円減らす効果が出たという。東電以外の黒字だった3電力は、電気料金の値上げも効いた。最も早く値上げした東電とは違い、1年前

「泊（原発）の再稼働は時間がかかることがはっきりした。2度目の値上げで第3基の再稼働を想定して

時時刻刻

は値上げていなかったたので、値上げ効果が出た今期の業績改善が目立った。最

再稼働頼みの3社赤字

北海道電力 再値上げ申請

原発に頼る割合が大きかった北海道、関西、九州の3社は赤字から抜け出せず、原発頼みが続く。財務内容は特に悪い北海道電力は、こう話した。家庭向けの値上げ幅は、前回の平均7.7%をはるかに上回る平均17.03%になる。国の認可がらならない企業向けも前回の平均11.00%の倍の22.61%値上げする方針だ。前回の値上げでは、泊原発3基の再稼働を想定して

大の黒字を出した東北電力の海輪誠社長は31日の会見で「原子力のウエートが他社と比べると小さい。コスト増は効率化で吸収していく」と話した。ただ、各社の中には「もう経費を削る余地は少ない」との声もある。原発の業績改善を望む声は根強い。

東電の柏崎刈羽原発も審査中で、再建計画は7月以降動くことになっていないが、めどは全くたっていない。4月に就任した教士文夫会長は「12月いっぱいまで一層の合理化に取り組みたい」と、再値上げについては合理的効果も見極めたうえで、年末に判断する考えだ。

ある」と発言。原発をいつ再稼働できるか、経費削減がどれくらいできるかなどを踏まえて判断する姿勢を強調した。関西が気にするのが、再値上げへの国の対応だ。前回の値上げでは、経費の見積もりの甘さを指摘され、社員への給料なども減らすよう求められた。

ただ、北海道電力は今回、電気料金を計算するための経費すべてではなく、燃料費など一部だけを審査してもらおう新制度を使って再値上げを求めている。これがすんなり認められるなら、関西も新制度での再値上げに踏み出しやすくなる。一方、九州電力は、最も再稼働に近いとされる川内原発2基を抱える。このため、当面の再値上げには慎重だ。

「非常に申し訳ない」。資源エネルギー庁に申請に訪れた北海道電力の川合克彦社長は、こう話した。家庭向けの値上げ幅は、前回の平均7.7%をはるかに上回る平均17.03%になる。国の認可がらならない企業向けも前回の平均11.00%の倍の22.61%値上げする方針だ。前回の値上げでは、泊原発3基の再稼働を想定して

八木誠社長は30日の会見で「再値上げを具体的に検討せざるを得ない可能性も重た。

ただ、業種によってはそうもいかない。3月末には、大盤に電力を使う電炉メーカーの新北海鋼業（北海道小樽市）が廃業した。値上げが商機に結びつく場合もある。東芝の前田恵造専務は、エアコンなどの家電にとっては「大きなビジネスチャンスになる」と話した。省エネ性能が高い新製品への買い替えが進むからだ。ただ、工場では大盤の電気を使うため「トータルでは非常に厳しい」。

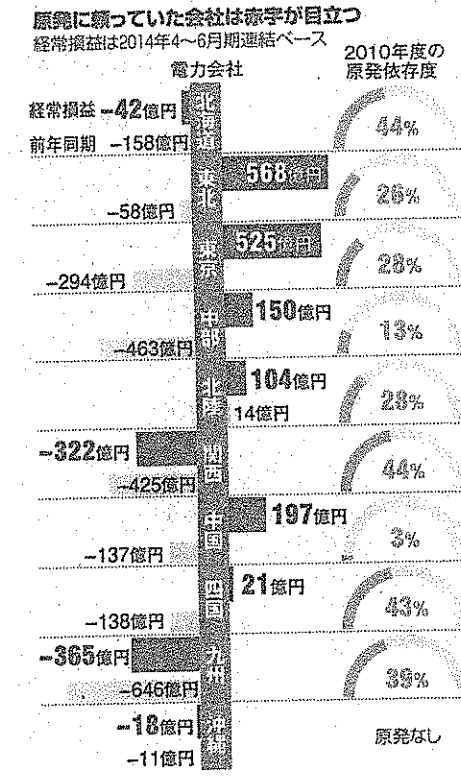
企業、負担増に備え

電力の値上げは、家庭だけでなく企業にも響く。円安で原材料なども値上がりしており、製造費などがさらに増えつつある。北海道室蘭市に製鉄所をもつ新日鉄住金の太田克彦副社長は31日の会見で、「（値上げは）今聞いた。これから影響を精査する」と話した。これまでの値上げだけで年間費用が60億、70億円増えている。対策のため、自家発電を

電力各社の東日本大震災後の平均値上げ率と原発再稼働の準備状況

電力会社	料金の値上げ率		安全審査中の原発
	家庭向け	企業向け	
北海道	7.73%	11.00%	泊3基(2013年7月)
東北	8.94%	15.24%	女川1基(13年12月) 東通1基(14年6月)
東京	8.46%	14.9%	柏崎刈羽2基(13年9月)
中部	3.77%	7.21%	浜岡1基(14年2月)
北陸	値上げせず		
関西	9.75%	17.26%	大飯2基(13年7月) 高浜2基(同)
中国	値上げせず		
四国	7.8%	14.72%	島根1基(13年12月)
九州	6.23%	11.94%	伊方1基(13年7月) 川内2基(13年7月) 玄海2基(同)
沖縄	値上げせず		

※かっこ内は審査を申請した時期



原発に頼っていた会社は赤字が目立つ。経常損益は2014年4〜6月期連続ベース。電力会社 2010年度の原発依存度。経常損益 -42億円、前年同期 -158億円。北海道電力 568億円 (44%)。東北電力 -58億円 (26%)。東京電力 -294億円 (28%)。中部電力 150億円 (13%)。関西電力 -463億円 (13%)。中国電力 104億円 (23%)。四国電力 -322億円 (44%)。九州電力 -425億円 (44%)。沖縄電力 197億円 (3%)。その他 -137億円 (43%)。その他 -138億円 (39%)。その他 -365億円 (原発なし)。その他 -18億円。その他 -11億円。